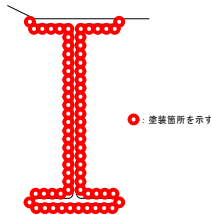
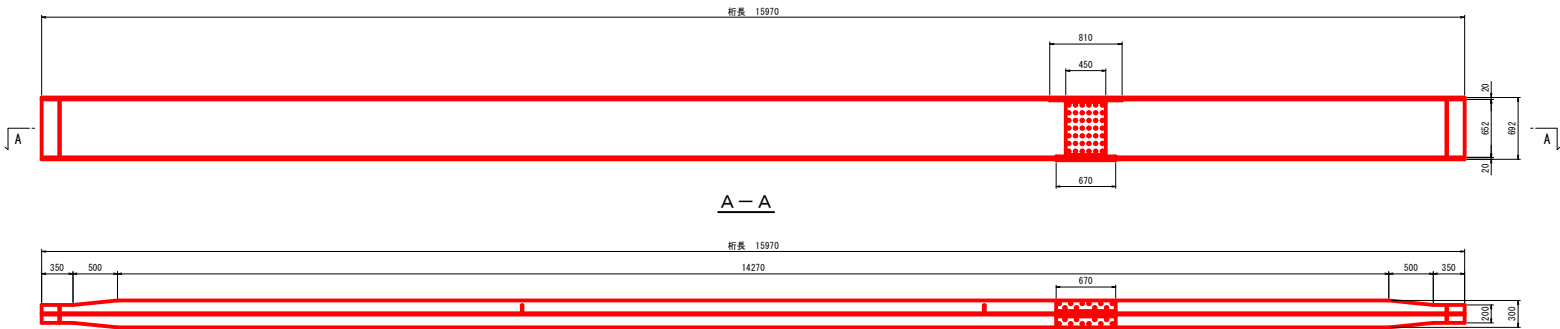


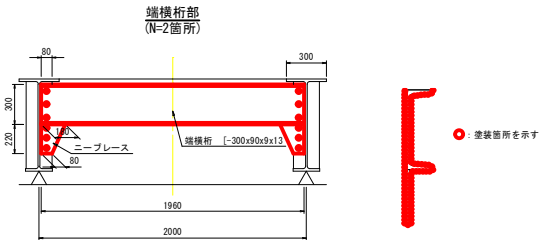
遍保ヶ野橋 塗装塗替工詳細図

主桁詳細図 S=1:30
(N=2本)



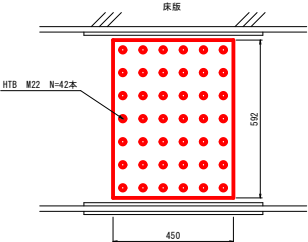
主桁塗装塗替数量表				
名 称	単 位	数 量	備 考	
主桁塗装面積	m ²	37.03	主桁1本あたり	

横桁詳細図 S=1:20

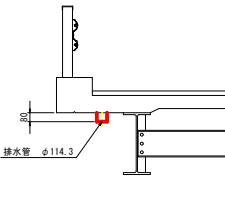


端横桁塗装塗替数量表				
名 称	単 位	数 量	備 考	
端横桁塗装面積	m ²	1.67	1箇所あたり	

添接板詳細図 S=1:10
(N=2箇所)
ウェブ

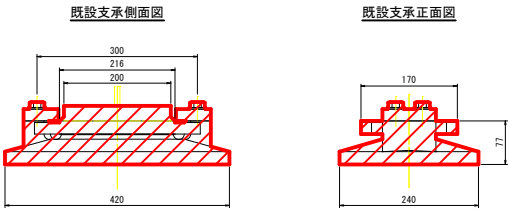


排水管詳細図 S=1:30



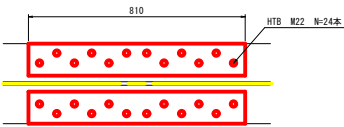
排水管塗装塗替数量表				
名 称	単 位	数 量	備 考	
排水管塗装面積	m ²	0.03	1箇所あたり	

既設支承概略図 S=1:5

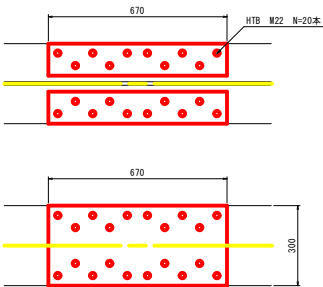


既設支承塗装面積数量表				
名 称	算 定 式	単 位	数 量	
支承塗装面積	30%給支承と推定 算定: 0.33m ² /基 A=0.28×2+0.24×2=1.04	m ²	1.04	

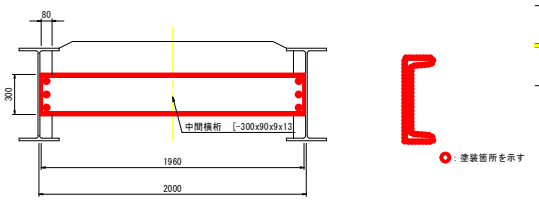
上フランジ



下フランジ



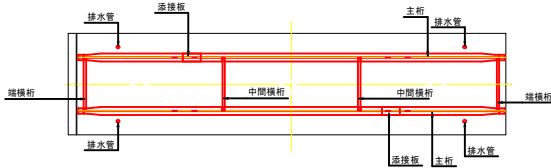
中間横桁部
(N=2箇所)



中間横桁塗装塗替数量表				
名 称	単 位	数 量	備 考	
中間横桁塗装面積	m ²	1.76	1箇所あたり	

遍保ヶ野橋 塗装面積集計表				
名 称	単 位	計 算 式	数 量	
主桁	m ²	A = 37.03 x 2 = 74.06	74.06	
端横桁	m ²	A = 1.67 x 2 = 3.34	3.34	
中間横桁	m ²	A = 1.76 x 2 = 3.52	3.52	
排水管	m ²	A = 0.03 x 4 = 0.12	0.12	
支承	m ²		1.04	
合計	m ²		82.08	

部材位置概略図

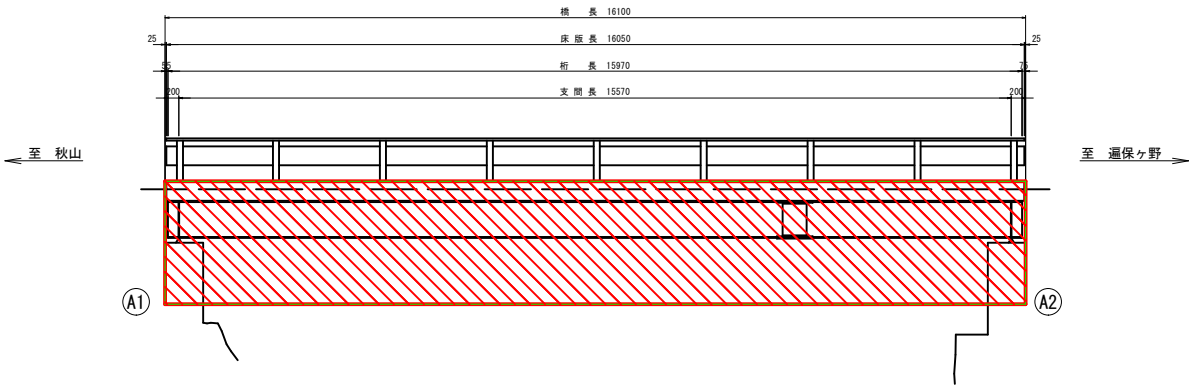


注: 本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

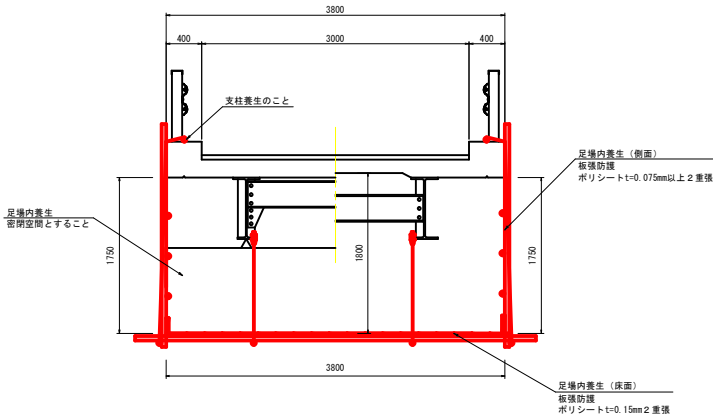
工事名	遍保ヶ野橋 塗装塗替工詳細図
図面名	遍保ヶ野橋 塗装塗替工詳細図
作成年月日	令和 6 年 10 月
縮尺	図示 図面番号 2 / 6
会社名	九州工務株式会社
事業所名	串間市 都市建設課

遍保ヶ野橋 仮設参考図

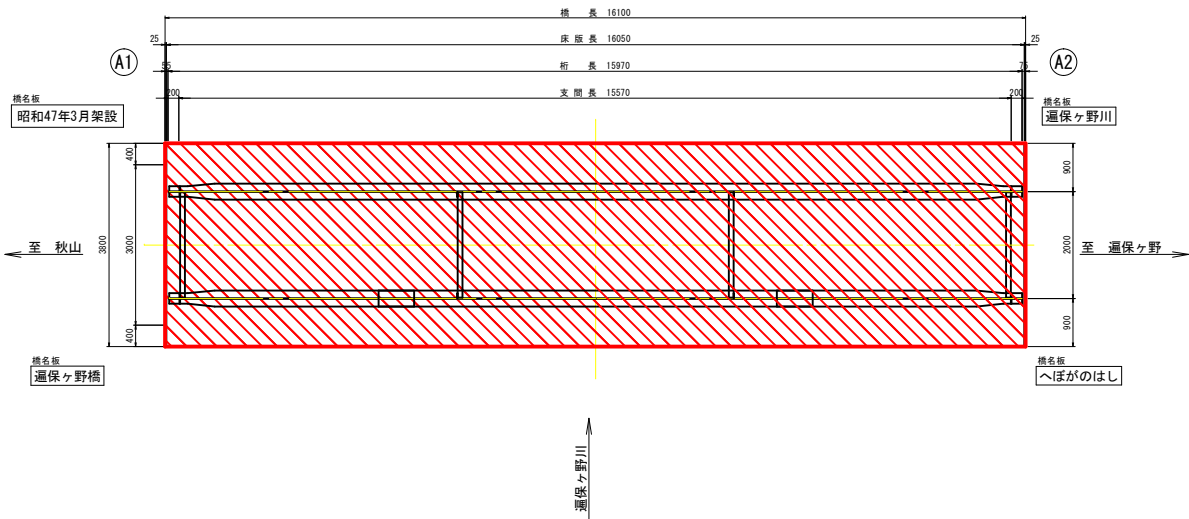
側面図 S=1:50



標準断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



体積算出

	L	W	H	V
体積	16.100m	3.800m	1.800m	110.12m ³

負圧集塵装置 必要風量

(内部容積を12分間で排出する能力が必要)

$110.12\text{m}^3 \div 12\text{min} = 9.18\text{m}^3/\text{min}$

負圧集塵装置 必要能力と必要台数

$9.18\text{m}^3/\text{min} \div 17\text{m}^3/\text{min} = 0.54\text{台} < 1\text{台}$

湿式塗膜剥離工用養生面積

	L	W	H	数量	S
床面	16.100m	3.800m	—	1箇所	61.18m ²
側面	16.100m	—	1.750m	2箇所	56.35m ²

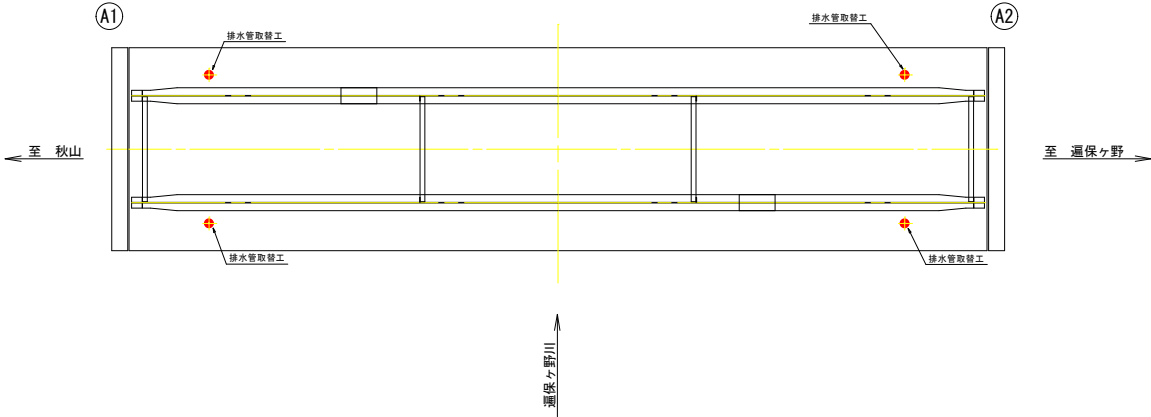
足場数量表

工種	計算式	数量
主体足場		
朝顔		
シート張防護	16.100×3.800	61.18m ²
板張防護		

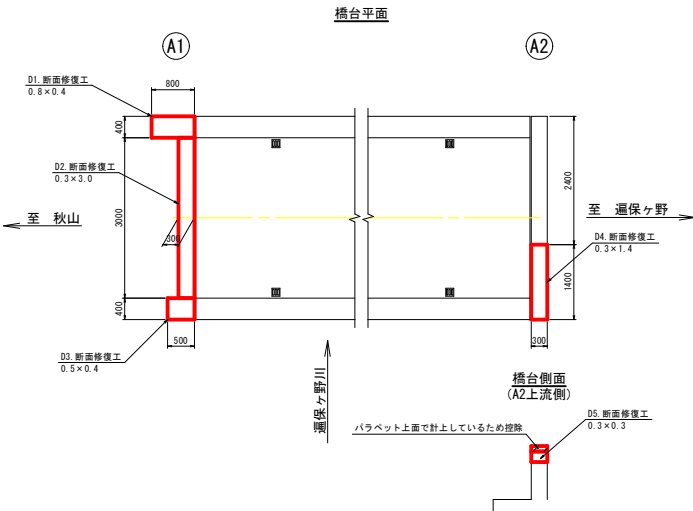
工事名	遍保ヶ野橋 仮設参考図
図面名	遍保ヶ野橋 仮設参考図
作成年月日	令和 6 年 10 月
縮尺	図示 図面番号 6 / 6
会社名	九州工業株式会社
事業名	福岡市 都市建設課

遍保ヶ野橋 補修図
排水施設・橋台

排水管取替配置図 S=1:50



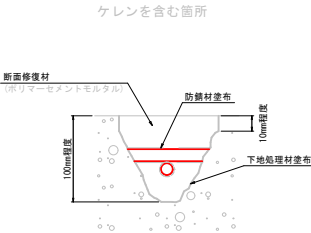
断面修復工 S=1:50



断面修復工 (ケレンあり)

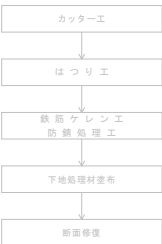
番号	断面修復	面積 (m ²)	はつり深さ (m)	数量 (m ³)
D1	0.80 × 0.40	0.32	0.10	0.032
D2	0.30 × 3.00	0.90	0.10	0.090
D3	0.50 × 0.40	0.20	0.10	0.020
D4	0.30 × 1.40	0.42	0.10	0.042
D5	0.30 × 0.30	0.09	0.10	0.009
断面修復面積・小計		1.93		0.193

断面修復工詳細図

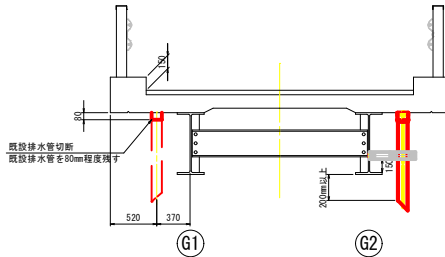


- ※ 1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないように断面に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切目地を入れ、入念に施工する。
- ※ 2. はつりの際に鉄筋が露出した場合は、適切に防錆処理を行い、次工程へ移行すること。
- ※ 3. はつり深さの100mmはあくまでも目安である。不良コンクリートは全て除去した後にポリマーセメントモルタルにて修復すること。

補修手順

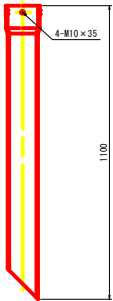


排水管取替工詳細図 S=1:30



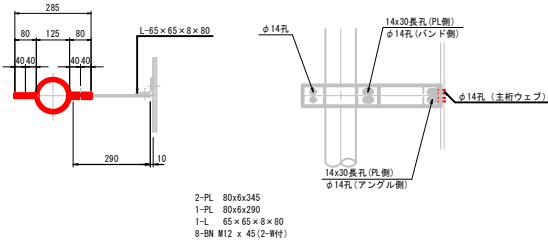
VPスリーブ S=1:10

VP100
N=4, L=1100



取付金具詳細図 S=1:10

製作数 = 4



- 注) 1. 特記無き材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛メッキを施すものとする。付着量はJIS 8641 (HD255) とする。ただし、ボルト・ナット類は (HD235) とする。
3. 施工前に現地調査にて寸法を確認の上、取付金具を作成すること。

排水管取替工数量表

項目	規格	単位	数量
ガス切断	板厚 t=4.5mm	m	0.359
排水管	VP100 スリーブ (斜切)	m	1.100
排水管取付ボルト	M10×35	本	4
支持金具	図面参照	組	1
取付金具ボルト・ナット	M12×45	本	8
ウェブ削孔	φ14孔	箇所	2

工事名	遍保ヶ野橋 補修図		
図面名	遍保ヶ野橋 補修図		
作成年月日	令和 6 年 10 月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 6
会社名	九州工営株式会社		
事業者名	串間市 都市建設課		